

国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 特別展の御案内

「印判手」とは手描きによる絵付に対し、型で絵模様を施した陶磁器を示す言葉として一般に使われています。実際には、銅版で紙に文様を印刷し転写する方法（銅版転写）と、型を使用して上から顔料を直接吹き掛ける方法（吹掛絵付）や、顔料を刷毛で摺り込む方法（型紙摺絵）があります。型紙摺絵は布地の染色法を陶磁器に応用したもので、絹や木綿の型染と同様、和紙を彫りぬいた型が使われました。文様としては、松竹梅など伝統的な吉祥文のほか、動物や植物など様々な文様があります。

民芸の蒐集家であった湯浅八郎博士（1890～1981、ICU 初代学長）は、1970年代に当時まだ一般の関心が薄かった印判手に注目し、2000種収集の目標を立てて熱心に収集しました。生涯で集めた印判手の総数は5000点にもおよびます。

このたび当館では、型で文様を付けた印判手の器を、同じように型で染めた藍染木綿や型紙とともに紹介いたしました。手描きとは異なる、型によって表現された文様の数々をお楽しみ頂ければ幸いに存じます。

展覧会名： 「型染と印判手」 Stencil Creations: *Katazome and Inbando*

会 期： 2019年1月8日（火） - 2019年3月8日（金）

展示資料：	型染屏風	2	
	型染夜具地・夜着	2	
	型染布	24	
	型紙	14	
	印判手磁器（丸皿・角皿・鉢など）	148	総数 190点

公開講座： 演 題 「湯浅コレクションの型染と印判手」
講 師 原 礼子（当館学芸員）
日 時 2019年2月9日（土）14:00 - 15:30
場 所 当館エントランス・ホール 聴講無料・要予約

開館時間： 火曜～金曜 10:00—17:00
土曜 10:00—16:30 入館料： 無 料

休 館 日： 日曜、月曜、祝日、2月1～4日、3月中の土曜日

交 通： JR 中央線三鷹駅および武蔵境駅南口より小田急バス「ICU 行」
にて終点下車または武蔵境駅南口よりタクシーで10分

問い合わせ： 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
〒181-8585 三鷹市大沢3-10-2
TEL:0422-33-3340 / FAX:0422-33-3485（担当：原 礼子）

なお、12月22日から大学の一斉休暇期間となりますので、ご連絡は12月21日まで、または2019年1月7日以降にお願いいたします。